

テレワーク・副業×地域ミッション事業イメージ

1 事業概要

- 首都圏企業の社員及びフリーランスの個人事業主(以下「参加者」という。)が、県内市町村に一定期間滞在し、お試し住宅等でテレワークを体験。
- 参加者は、勤務時間後(企業から許可された勤務時間含む)や休日に、市町村が用意した地域ミッション事業に参画し、関係人口として地域課題解決に携わる。
- 県内3地域で実施。
- テレワークや地域ミッション参画の様子を広報し、「テレワークするなら埼玉」をPR。
- 都内で市町村と企業をマッチングするための交流会を実施。

2 事業参加企業等

- (1) 東京都・千葉県・神奈川県に本社を置く企業
- (2) 東京都・千葉県・神奈川県在住の個人事業主(フリーランス)
(例: デザイン、IT、建築設計etc)

3 事業参加者

- 上記2(1)の社員(2)のフリーランス
- 1市町村あたり3名程度

4 市町村でのテレワーク及び地域ミッション参画期間

- 7日間程度
- 滞在中に4回程度地域ミッションに参加(次のイメージ参照)

木曜日: テレワーク
①市町村職員からのガイダンス、職員へのヒアリング
金曜日: テレワーク
②勤関係者とのディスカッション、視察など
木曜日: 都内への出勤日
金曜日: テレワーク
土曜日: 休日
日曜日: ミッション参加
③課題解決策をプレゼン
月曜日: 都内への出勤
④勤務後ミッション参加。関係者とのディスカッション

5 地域ミッションテーマ

- 令和5年度は原則次の(1)又は(2)をテーマとする。
- (3)については、市町村からの要望があった場合に、協議のうえ決定する。

	令和5年度地域ミッションテーマ
(1)	地域資源を活用した商品等の企画・開発等
(2)	地域資源を活かした観光プランの企画・開発等
(3)	その他(市町村からの要望があった場合に協議の上決定)

市町村	【参考】令和4年度に実施した地域ミッション内容
行田市	来場者も出展者も楽しめる「行田はちまんマルシェ」の実現
羽生市	商店街と地域との繋がりを生かした持続可能なまちづくり活動の加速
横瀬町	テレワーク拠点を活用した地域資源の新たな魅力発見と商品開発

6 宿泊場所・テレワーク場所

- 宿泊場所: お試し住宅、ホテル・旅館等
- テレワーク場所: 宿泊場所、コワーキングスペース等

7 広報

- 事業内容を広報し、テレワークに適した本県の魅力等をPR。「テレワークするなら埼玉」のイメージ定着。
- ランディングページの作成・運用、SNSを活用した広報、ウェブ広告の実施

8 交流会

- 市町村と企業等がマッチングする機会の提供、官民連携による地域課題解決の先進事例の紹介、本事業での取組内容の報告など。
- 都内で年2回開催